

生産・保全現場で取り組んだ改善事例の優秀発表が集う！



詳細はこちら

優秀改善事例 全国大会2022

10月27日(木) 10:10~16:40



名古屋国際会議場より配信!!

会場とオンライン配信 (Zoom) のハイブリッド開催!!
参加者の投票で賞が決まります!!

DX 予防保全
人材育成
品質向上
安全
作業効率
24の優秀事例
ダイバーシティ
コストダウン
カーボンニュートラル



全国7地域で開催した
「改善事例発表大会」
86事例のうち、
「優秀改善賞」を受賞した
24事例が集まる全国大会

POINT

『いま』の現場最前線の改善が集結！
『設備管理・保全』の優秀改善事例が聴ける！
あなたの困りごとの解決のヒントがある！
他の会社の改善活動がわかる！

<選べる参加プラン> 1事例 約15分
気になる事例だけでもOK

会場で参加



名古屋国際会議場
(愛知県名古屋市熱田区)

発表者へ
直接質問ができる

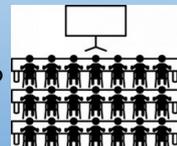
PCや
スマホで



オンライン参加

Web環境があれば
どこでも参加できる

みんなで



講堂や
会議室で



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

◆優秀改善事例全国大会2022 A会場（配信会場 2号館3階：232・233）

9:40 - 会場：受付開始		9:55 - Web：ログイン開始	
10:10 - 10:20		開会あいさつ	
A-1	10:20 - 10:40	中部	工務・保全部門
愛知製鋼株式会社		設備故障ゼロへの追及	
森川 倫光		設備技術部 鋼材電気課	
		丸棒圧延ライン 誘導加熱炉接点荒損故障『ゼロ』へ	
		会場発表	
長年苦勞してきた、CF-IH炉接点荒損故障を若手主体で取り組んだ。主要因である『押付力不足』を早期発見するため、回路・圧力について学び、今だからこそできる最適な検出方法を導き出す改善事例を発表する。			
A-2	10:45 - 11:05	中国・四国	運転・製造部門
PSジャパン株式会社		スタートアップ作業の改善	
笠原 基嗣		製造技術部水島工場 製造チーム・オペレーター	
		ストランド垂れに終止符を!!～高耐熱グレードスタートアップ編～	
		Web発表	
ストランド垂れはPSジャパン水島工場高耐熱グレードのスタートにおいて発生するトラブルで長年解決されていない問題であった。トラブル解決に至るまでの取組み事例を発表する。			
A-3	11:15 - 11:35	西日本	工務・保全部門
マツダ株式会社		故障ゼロ化	
木本 貴幸		防府工場中間地区 パワートレ工務技術グループ 工務係	
		トランスミッション性能検査装置のインバータ故障撲滅	
		会場発表	
トランスミッションの性能検査装置で使用されているインバータが2年周期で故障し、工場の稼働を阻害して補修コストが悪化していた。6ゲン主義に基づいた原因追究を行い、保全部門と製造部門が一体となって故障を撲滅した事例を発表する。			
A-4	11:40 - 12:00	東北・北海道	工務・保全部門
トヨタ自動車東日本株式会社		手の内化 人材育成	
石田 誠		岩手工場 工務部 第2設備課 ボデー設備係 組長	
		油の温度監視による油圧シリンダーの状態監視活動	
		会場発表	
油圧シリンダーのオイルシール不具合によるシリンダーリークに対し、油温を上げない取り組みと、油温監視装置を自分たちで組み上げ傾向管理することで故障未然防止に繋げた事例を発表する。			
(昼休憩 12:00～13:00)			
A-5	13:00 - 13:20	中部	工務・保全部門
株式会社デンソー		自主保全と専門保全の融合	
高橋 和磨		高棚製作所 AD&ADAS製造部2工場 TPM 2課	
		GSP生産ライン高稼働への取り組み～スリムな予兆監視による安定維持～	
		会場発表	
目標設総率90%を達成し、更にもう一段階高いレベルまでへの引上げ・高稼働状態の安定維持に取り組む中で、問題は稀に発生する大停止でこれをいかに防ぐかであった。その大停止の主要因である部品摩耗に対し、予兆監視を取り入れて克服した事例を発表する。			
A-6	13:25 - 13:45	関西	運転・製造部門
西日本積水工業株式会社		ライン自動化	
中西 秀徳		栗東製造所 製造部 オレフィン製造課 生産係 班長	
		架橋ポリエチレン給水・給湯管生産性改善～タッチレスライン構築への挑戦～	
		Web発表	
今回の改善は押出成形工程の『押出量管理作業』に着目し、属人化していた作業の方法の見直し・基準化を進め、人が作業することが当たり前だと考えていた『押出量管理作業』を設備化し、タッチレスラインの構築を進めた事例を発表する。			
A-7	13:55 - 14:15	中部	運転・製造部門
株式会社アイシン		刃具寿命限界の先への探求	
山内 武史		安城第1工場 第1加工製造室 ドラムリングギヤ加工課 第2係 工長	
		定期刃具交換ロス低減活動～ホブカッター刃具寿命延長～	
		会場発表	
カッタ摩耗のメカニズムに注目することで、摩耗曲線の中でも初期の摩耗速度を抑えるためカッタの送り速度と周速の最適条件を調査し、最も効果的な条件を見つけた事例を発表する。			
A-8	14:20 - 14:40	関東	運転・製造部門
旭化成株式会社		働きやすさへの拘り	
井手 慶		製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係 交替職長	
		働き方改革の実現	
		Web発表	
人は財産、全ては人からという考えを基に、私達は事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の持続的向上を追求している。しかし、その人（財産）に大きな負荷が掛かっており、働く意欲を失っていた。それを見事に改善した事例を紹介する。			
A-9	14:50 - 15:10	中部	工務・保全部門
トヨタ紡織株式会社		通信機器の保全活動	
大城 渡		高岡工場 高岡製造部 設備保全課 高岡保全係	
		よく知りもしないで、「ノイズが原因」とか言ってるじゃないよ！って話 通信ノイズの可視化、基準化、管理運用	
		会場発表	
原因不明の設備トラブルに対し根拠も無くノイズだ！と保全らしからぬ判断。そもそもノイズとは？発生原因は？どんな影響があるのか？根底からノイズを研究！ノイズ発生デモ機を製作、それをを用いてノイズ基準化、管理運用の手の内化を目指した事例を発表する。			
A-10	15:15 - 15:35	西日本	工務・保全部門
トヨタ自動車九州株式会社		故障発生リスクの低減	
吉村 政則		宮田工場 塗装部塗装設備課	
		床裏ロボット品質不具合低減と流出防止への挑戦	
		Web発表	
工場立ち上げ当初から懸案事項となっていた床裏ロボット品質不具合の発生と品質不具合車両の連続流出に対し、低減に繋げた地道な改善活動と連続品質不具合及び後工程への流出防止に向けた改善活動の事例を発表する。			
A-11	15:45 - 16:05	中部	工務・保全部門
イビデン株式会社		色と自然の原理を使用	
林 英紀		大垣中央工場 PKG事業本部 生産統括部 設備管理部設備管理2G設備管理T 主任	
		色の変化と自然の原理を利用し不良ゼロを達成した自掛活動	
		会場発表	
2020年に同様の原因で品質不良発生が発生し、仕損費が大きく即座に対策を他部門より求められた。他部門の要求に対し設備管理の知恵と工夫を駆使し対策したところ、納期は4Mから1W、金額は1000万円から30万円、仕損費は17,900万から0円となった事例を発表する。			
A-12	16:10 - 16:30	関東	工務・保全部門
東レ株式会社		ゼロトラブルの追及	
松下 佳克		三島工場 工務部 工務保全課	
		東レ三島工場 医薬品製造設備の工程安定化 ～生産工程可視化システムによるチョコ停撲滅活動～	
		Web発表	
医薬品製造工程のチョコ停対策として生産工程可視化システムを導入し、原因究明の強化に繋がっている。トラブル事案を製造・保全相互教育に取り込むとともに、設備管理項目へ落とし込み、製造・保全相互の予兆管理強化に取り組んでいる事例を紹介する。			
16:30 - 16:35		閉会あいさつ	

大会終了後、大会特別賞の投票・アンケートへの記載をお願いいたします。

※会場発表・・・会場からリアルタイムでの発表

※Web発表・・・オンライン上で録画データでの発表

◆優秀改善事例全国大会2022 B会場（配信会場 2号館3階：234）

9:40 - 会場：受付開始			9:55 - Web：ログイン開始		
10:10 - 10:20			開会あいさつ		
B-1	10:20 - 10:40	東北・北海道	工務・保全部門	総務・総力で取り組んだチラー流量計故障ゼロへの挑戦！ 会場発表	
株式会社デンソー岩手 他部門他社との連携 大山 悦男 ウエハ工場 ウエハ製造部 製造3課			潜在的故障ゼロに向け、社内では発生していない故障をベンチマークにより収集し、故障品や使用環境等を調査のうえ、理想とする故障しない形状を立案した。さまざまな部門、会社と連携し、磨耗部のない超音波式流量計改善を成し遂げた事例を発表する。		
B-2	10:45 - 11:05	北陸	運転・製造部門	U軸加工機によるセンターピース切粉巻付き低減活動 Web発表	
株式会社アイシン福井 加工点研究による頻発停止ロス低減 佐藤 真人 第3製造室 第4T/C加工グループ 職長			U軸加工機でのセンターピース切削により発生する切粉のメカニズムを解析することで、センターピースに巻き付きにくい切粉形状とする切削条件の確立した事例を発表する。		
B-3	11:15 - 11:35	中部	工務・保全部門	LSW保護ガラス焼けの低減 会場発表	
トヨタ自動車株式会社 新技術の手の内化 工藤 祐太 堤工場 車体部 設備課			LSW（レーザースクリューウエルド）スキャナー本体の保護ガラス焼けの原因となるスパッター付着を試行錯誤し低減させ寿命延長させる事で保全工数と保全費の低減を実現した事例を発表する。		
B-4	11:40 - 12:00	西日本	運転・製造部門	第1工場廃液設備トラブル撲滅 Web発表	
徳山積水工業株式会社 全員参画の改善活動 山崎 陵 ポリマー製造部 ポリマー製造課			大きなロスに直結する廃液設備トラブル。移送ポンプが原因であることを発見したが、改善案が出てこない。メンバーの閃きから、ポンプを改善するのではなくポンプを使わない発想に転換。結果、トラブルの撲滅に至った事例を発表する。		
(昼休憩 12:00～13:00)					
B-5	13:00 - 13:20	中国・四国	工務・保全部門	鍛造プレスオーバーラン故障0の実現 会場発表	
マツダ株式会社 故障ゼロの追求 岡田 浩司 本社工場 第3パワートレイン製造部 工務係 班長			鍛造マシンの重要な精度の1つに上死点停止精度がある。機歴30年超の6300Tプレスの停止精度は熟練保全員が経験を頼りに調整していたが、そのノウハウの数値化と停止制御デジタル化へ向けた熟練保全員と若手保全員の挑戦についての事例を発表する。		
B-6	13:25 - 13:45	中部	運転・製造部門	シャワートイレ自動開閉ライン ロス低減活動 Web発表	
株式会社アイシン 価値作業の追及 松本 祐二 安城工場 製造室シャワートイレ課組立2係 工長			設備起因チョコ停対策及び組付けの価値作業の追及により総合効率68.6%⇒91.6%へ向上(時間当たり出来高1.4倍)した事例を発表する。		
B-7	13:55 - 14:15	関東	運転・製造部門	クラフトボス新容器 搬送不良撲滅 会場発表	
サントリーブロダクツ株式会社 不良ロス削減 川邊 大貴 様名工場 包装第2部門Fライングループ			クラフトボスが新容器に変更になったが、当初からPETボトルの容器成形機で搬送不良による悪さがあった。そこで原因を調査し容器を掴む部位に適切な部品に自費で改善することで目標のゼロ化を達成した事例を発表する。		
B-8	14:20 - 14:40	中国・四国	運転・製造部門	新製品銀チョコパンケーキの企画開発と発売前の原価低減 Web発表	
株式会社四国シキシマパン 新製品開発と改善の総和 小笠原 輝彦 松山工場 製造二課 課長代理			どん焼きラインはこれまで生産高が安定していなかったため、ライン人員自ら新製品の企画、開発に取り組み、各課題の改善、少人化をクリアした結果、生産高を確保し黒字化できた事例を発表する。		
B-9	14:50 - 15:10	関西	工務・保全部門	熱ロールのトラブル対策 会場発表	
旭化成株式会社 予兆管理で突発故障削減 栗田 淳史 生産技術本部 設備技術センター 守山設備技術部 スパンボンド設備技術課 係員			不織布生産設備の熱圧着ロールで駆動系のトラブルが慢性化していた。運転部門と協議しながら仮説を立て、現場検証を経て原因究明し、対策を実施。傾向管理していくことで、トラブル停止をなくすことに成功した事例を発表する。		
B-10	15:15 - 15:35	中部	工務・保全部門	中シ工場 全停電の危機を救え！ Web発表	
JFEスチール株式会社 電気品の新整備方法の確立 北川 大裕 知多製造所 企画部 保全室			老朽化した受配電設備（遮断器）のショートトラブルを防止して、工場停電を無くす為、様々な整備にトライするも、トラブルの連鎖を食い止めることが出来ずにいた。諦めることなく真の原因を突き止め、これまで実行したことのない整備方法にたどり着いた改善事例を発表する。		
B-11	15:45 - 16:05	関西	運転・製造部門	CXC系統液面計座 ガス洩れ削減取り組み 会場発表	
ダイキン工業株式会社 暗黙知の見える化 小野 大樹 堺製作所 空調生産本部 堺製造部製造課			有能なベテラン作業者の退社で世代交代した途端、品質不良(溶接不良)が増加。サークルメンバーでQC手法を用いて分析し、溶接という高度な技能の暗黙知を見える化する為に治具を製作し、標準化に成功！現場の品質不良削減・生産性向上・溶接技能伝承工数削減した取り組み事例を発表する。		
B-12	16:10 - 16:30	中部	工務・保全部門	長時間停止低減活動『ナレッジマネジメントによるMTTR短縮』 Web発表	
株式会社豊田自動織機 ナレッジマネジメント 橋本 博聡 エレクトロニクス事業部 製造部保全課 班長			安城工場の生産ラインが増え、多種多様な設備が増えて、故障による設備の長時間停止が増加傾向にあった。長時間停止を低減する為に、PM活動の見直しや、再発防止への徹底した対策の実施、ノウハウの共有(=ナレッジマネジメント)によりMTTRが短縮できた事例を発表する。		
16:30 - 16:35			閉会あいさつ		

大会終了後、大会特別賞の投票・アンケートへの記載をお願いいたします。

※会場発表・・・会場からリアルタイムでの発表

※Web発表・・・オンライン上で録画データでの発表

申込規定・ご案内

1. 参加料

①会場で参加プラン

人数	会員	一般
1～9名	14,300円/名 本体価格13,000円 消費税1,300円	19,800円/名 本体価格18,000円 消費税1,800円
10～19名	12,100円/名 本体価格11,000円 消費税1,100円	17,600円/名 本体価格16,000円 消費税1,600円
20名以上	11,000円/名 本体価格10,000円 消費税1,000円	16,500円/名 本体価格15,000円 消費税1,500円

※1名ごとに投票権（2票）が与えられます

②ひとりでオンライン参加プラン

人数	会員	一般
1～9名	14,300円/名 本体価格13,000円 消費税1,300円	19,800円/名 本体価格18,000円 消費税1,800円
10～19名	12,100円/名 本体価格11,000円 消費税1,100円	17,600円/名 本体価格16,000円 消費税1,600円
20名以上	11,000円/名 本体価格10,000円 消費税1,000円	16,500円/名 本体価格15,000円 消費税1,500円

※1名ごとに投票権（2票）が与えられます

③みんなでオンライン参加プラン（複数人1ID）

ID	会員	一般
1～9名	71,500円/ID 本体価格65,000円 消費税6,500円	99,000円/ID 本体価格90,000円 消費税9,000円
10～19名	121,000円/ID 本体価格110,000円 消費税11,000円	176,000円/ID 本体価格160,000円 消費税16,000円
20名以上	220,000円/ID 本体価格200,000円 消費税20,000円	330,000円/ID 本体価格300,000円 消費税30,000円

※1申込ごとに投票権（2票）が与えられます

※1IDでの「最大参加人数」にてお申込みください

- 投票権…参加者からの投票で大会特別賞を選出します
- 会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください
- ・（公社）日本プラントメンテナンス協会
<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>
- ・（一社）日本能率協会 <https://list.jma-member.com/>

2. 参加・申込み方法

- 本大会は、名古屋国際会議場からWebシステム「Zoom」にてライブ配信いたします
- 参加方法は会場参加とオンライン参加をご選択ください
- 会場参加には定員があります ※先着順
- オンライン参加にはインターネットがつながる環境が必要です
- 当会HPの専用お申込みフォームよりお申込みください
URL：<https://info-jipm.jp/f/ey-forms/>
- 申し込みはWEBでのみ受け付けます
- 会場参加の方には、開催1週間前に、参加者それぞれに受付メールをご連絡します。大会当日の受付時に、受付メールを携帯端末で表示いただくか、印刷のうえ、ご持参ください
- オンライン参加の方には、専用URLを開催1週間前に参加者それぞれにメールにてご連絡します
- 発表資料は開催1週間前から、データでダウンロード可能です（テキスト配布はありません）
- 請求書は、開催の2週間前より派遣窓口様宛に送付します。開催後1ヵ月以内に当会指定の銀行口座にお振込みください
なお、振込手数料は貴社にてご負担ください

3. お願いとお断り

- 「ひとりでオンライン参加プラン」をお申込みの場合、複数人で参加することは禁止いたします。他者との共有はできません。必ず参加される人数分のお申込みが必要です
- 「みんなでオンライン参加プラン」は同じ事業場の従業員であれば複数人で参加いただけます。ただし、同時に複数端末で参加する場合や、複数の事業場で参加する場合は、必ず必要なID数のお申込みが必要です
- 本大会は2グループに分けて、2つの配信会場で同時配信を行います。同じ時間帯の事例は同時に聴講いただけません。あらかじめご了承ください
- 配信映像の録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿はお断りいたします

4. 会場参加者へ新型コロナウイルス感染防止対策のお願いとお断り

- ・来場にあたっては必ずマスクの着用をお願いします
- ・熱が37.5度以上ある場合はご参加できません
- ・会場内では会話は小声にし他の参加者と一定の距離を保つように努めてください
- ・会場設置の消毒液で必ず手指消毒をお願いします
- ・発熱、咳・咽頭痛など風邪のような症状がある方、基礎疾患をお持ちの方で感染リスクを心配される方のご参加はお控えください
- ・体調が悪そうな方にはお声がけしご退出をお願いする場合がございます
- ・会場では極力会話はお控えください
- ・会場参加の方には昼食をご用意しますが、黙食にご協力をお願いします

5. キャンセル規定

開催当日～7日前の参加取消し：参加料全額
※10月20日（木）よりキャンセル不可となります
※キャンセルは、当会HP「セミナー・イベント情報」→「お問い合わせ」→「イベント申込み後のお問合わせ」

6. お問い合わせ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
中部事務所
TEL：052-561-5634
E-mail：jipmchuubu@jipm.or.jp

大会詳細HP



お申込みフォーム



お申込みはWEBサイトから <https://info-jipm.jp/>